

◎北太平洋捕鯨の規制に関する日本国とソヴェエト社会主義共和国連邦との間の協定

(略称) ソ連邦との一九七五年の北太平洋捕鯨規制協定

昭和四十九年 九月十三日 東京で署名
昭和四十九年 九月十三日 効力発生
昭和四十九年 九月二十八日 告示

(外務省告示第一七六号)

目次

	ページ
前文	八四一
第一条 漁期	八四一
第二条 ひげ鯨及びまっこう鯨の年間捕獲頭数の配分	八四一
第三条 効力発生	八四二
第四条 有効期間	八四三
末文	八四三
ソ連邦との一九七五年の北太平洋捕鯨規制協定	八三九

(訳文)

北太平洋捕鯨の規制に関する日本国とソヴィエト社会主義共和国連邦との間の協定

千九百四十六年十二月二日ワシントンで署名された国際捕鯨取締条約(以下「条約」という。)の締約政府である日本国及びソヴィエト社会主義共和国連邦の政府は、次のとおり協定した。

第一条

- (a) この協定の適用上、
- (i) 千九百七十五年における母船によるひげ鯨の捕獲のための解禁期は、四月十五日から十月十五日までの期間とする。
- (ii) 千九百七十五年における母船によるまつこ鯨の捕獲のための解禁期は、三月十五日から十一月十五日までの期間とする。
- (b) 自己の管轄下で作業する鯨体処理場を有する署名政府は、他の署名政府に対し、当該鯨体処理場の解禁期をできる限り速やかに通告する。

第二条

ひげ鯨及
条約に基づき千九百七十五年について認められた北太平洋及

ソ連邦との一九七五年の北太平洋捕鯨規制協定

AGREEMENT BETWEEN JAPAN AND THE UNION OF SOVIET SOCIALIST REPUBLICS ON THE REGULATION OF NORTH PACIFIC WHALING

The Governments of Japan and of the Union of Soviet Socialist Republics, being parties to the International Convention for the Regulation of Whaling, signed at Washington on December 2, 1946 (hereafter referred to as "the Convention");

Have agreed upon the following:

Article 1

- (a) For the purpose of this Agreement:
- (i) The open season in 1975 for pelagic baleen whaling operations shall be the period from April 15 to October 15 both inclusive; and
- (ii) The open season in 1975 for pelagic sperm whaling operations shall be the period from March 15 to November 15 both inclusive.
- (b) The Signatory Government having a land station or stations operating under its jurisdiction shall as soon as possible notify the other Signatory Government of the season or seasons for such station or stations.

Article 2

The total catch of baleen and sperm whales

びま
うの
捕鯨
のつ
配獲
のこ
分頭
年こ

びその附属水域におけるひげ鯨及びまつこう鯨の総捕獲頭数は、次のとおり署名政府の国の間に配分する。

(i) ながす鯨

日本国 一三四頭

ソヴィエト社会主義共和国連邦 一六六頭

(ii) いわし鯨（にたり鯨を含む）

日本国 一三四五頭

ソヴィエト社会主義共和国連邦 六五五頭

(iii) まつこう鯨

(a) 雄

日本国 二五六五頭

ソヴィエト社会主義共和国連邦 三四三五頭

(b) 雌

日本国 一七一〇頭

ソヴィエト社会主義共和国連邦 二二九〇頭

第三条

この協定は、前文に掲げる政府によつて署名された日に効力を生ずる。

authorized under the Convention to be taken in the North Pacific Ocean and dependent waters in 1975 shall be allocated between the countries of the Signatory Governments in the following manner:

(i) Fin Whales

Japan 134

Union of Soviet Socialist Republics 166

(ii) Sei and Bryde's Whales combined

Japan 1,345

Union of Soviet Socialist Republics 655

(iii) Sperm Whales

a) Male Sperm Whales

Japan 2,565

Union of Soviet Socialist Republics 3,435

b) Female Sperm Whales

Japan 1,710

Union of Soviet Socialist Republics 2,290

Article 3

The present Agreement shall enter into force on the day upon which it is signed by the Governments referred to in the preamble.

第四条

有効期間

この協定は、千九百七十五年十二月三十一日まで実施する。

末文

以上の証拠として、下名は、各自の政府から正当に委任を受けてこの協定に署名した。

千九百七十四年九月十三日に東京で、英語により本書一通を作成した。

日本国政府のために

宮崎 弘道

ソヴィエト社会主義共和国連邦政府のために

ツェホーニヤ

Article 4

The present Agreement shall be operative until December 31, 1975.

In witness whereof the undersigned, being duly authorized thereto by their respective Governments, have signed the present Agreement.

Done in duplicate at Tokyo, the thirteenth day of September, 1974, in the English language.

For the Government of Japan:

(Signed) Hiromichi Miyazaki

For the Government of the Union of Soviet Socialist Republics:

(Подпись) И. Цехоня

(参 考)

この協定は、国際捕鯨取締条約に基づき一九七五年漁期について認められた北太平洋及びその附属水域におけるひげ鯨及びまっこう鯨の総捕獲頭数を、ながす鯨については、日本一三四頭及びソ連一六六頭、いわし鯨については、日本一、三四五頭及びソ連六五五頭、まっこう鯨の雄については、日本二、五六五頭及びソ連三、四三五頭並びにまっこう鯨の雌については、日本一、七一〇頭及びソ連二、二九〇頭と配分することに日ソ両国間で合意が成立し、作成されたものである。